

学年担任制への移行に向けて 4

2025年 3月5日 柏市立富勢小学校 校長 梅津 健志

学年担任制は、前任の土小学校で 2021 年度よりベテラン教員の発案で 1 学年だけ導入し、翌 2022 年度より全学年で導入してきました。報道では、流山市立長崎小、京都市の 27 校、杉並区 4 校、神戸市 9 校、富山県南砺市全校、岡山県津山市全 27 校、静岡市 2 校、などで実践されています。

TBS ニュースで静岡の学校を報道した番組が YouTube で配信されています。

<https://www.youtube.com/watch?v=iSjHUIrX2B4> また、教員が学ぶために小学館が情報提供しているみんなの教育技術には、概要とメリットデメリット等がせりりされています。

<https://kyoiku.sho.jp/287657/> 日本文教出版という教科書を発行している会社の HP に <https://www.nichibun-g.co.jp/data/web-magazine/manabito/inclusive/inclusive057/> や 東洋経済 education にはある小学校の導入時の取り組みが掲載されています。

<https://toyokeizai.net/articles/-/833317>

実際に土小学校で実施してきたことや既に導入している学校の実践をみても、教員同士の情報共有や実践共有の時間の確保が重要であると認識しています。そのために、来年度は先日説明したようにカリキュラムマネジメントをしっかりと行い、週 29 時間の時間割を週 28 時間として実施して、教員同士が情報共有する時間を確保します。給食の回数は本年度よりも 4 日増やし、授業時間は文科省が定める時間を確保した上で、子供にも教員にも余裕ができるように工夫しました。さらに、実際の様子をご覧いただく機会として 1 時間目から 6 時間目まで（4 時間目は除く）を公開する授業参観日を年間 5 日（月から金 1 回ずつ）予定しております。

学年担任制のやり方に正解や模範例はありません。それぞれの学校でチームとなった職員がよりよいやり方を求めて切磋琢磨する中に、その学校に合ったよい形が生まれてくると考えています。いずれも「子供主語」とし、子供に力をつけるために取り組みを工夫していくことが大切です。土小学校の児童アンケートでは 9 割の子供が肯定的回答でした。1 割の子供にどう良さを感じ取ってもらえるかが課題ではありました。子供の自由記述の中に「嫌な先生になった場合、1 年間嫌な 1 年になってしまうけど、学年担任制だといろんな先生と仲良くなれるのがいい」と回答していたことが印象にあり、一方の先生への不満を他の先生に相談して、先生同士の話し合いを通して、子供への関わりを変えて子供の不満が解決していったこともありました。明日は実際の保護者の声をお伝えしたいと思います。